



匈奴の冒頓単于 (草原の道の王者①)

7月①のごあいさつ

山内公認会計士事務所

2022年7月1日(金)

秦が中国を統一し、間もなく漢がそれを引継いで世界帝国を建設した時、その北方には匈奴の大勢力が存在した。

匈奴は、当時中国の北方、「草原の道」の交易路を支配した騎馬民族である。紀元前3世紀の終り頃、匈奴の英雄、「冒頭単于(ぼくとつぜんう)」は、月氏などを破り、モンゴリアを統一、強大な遊牧帝国を建設した。

時あたかも、南には秦を引継いだ漢帝国が成立した時期であった。

「漢の高祖劉邦」は、漢帝国成立直前(紀元前198年)ほぼ中国を平定すると、40万の匈奴討伐軍を編成して、前線に赴いた。

時は冬、中国北方の戦場は厳しい寒波に見舞われ、雪が降った。

漢軍の兵士は次々と凍傷にかかり、10人に2,3人は指を失った。

高祖は全軍の先頭に立って、攻撃し、平城に入城したが、追撃を急いだために隊列が伸びをきって、後続の部隊と分断されてしまった。

冒頭単于は、そこを狙って精鋭40万騎を繰り出し、高祖の率いる先頭部隊を白登山上に包囲した。高祖は、まさに絶体絶命の窮地に立たされた。

まともな作戦では脱出できぬと見た高祖は、冒頭単于の後に密使を送って手厚い贈物をして停戦を依頼した。後は冒頓に言った。「隣合う国の君主が、苦しめあってはなりません。たとえ、この戦に買っても漢の領土に留まれません。どうかよく考えて下さい。」冒頭は兵を率いて北に去り、高祖もやっとのことで兵をまとめて撤退した。

やがて高祖は、使者をたて、匈奴との間に停戦協定を結んだ。

漢の皇族の娘を公主に仕立てて単于にめあわせるとともに、毎年一定量の綿、絹、酒、米、糧食等を献ずることとし、兄弟国となる条約を結んで和睦(前200年)したのである。高祖が崩し、恵帝、呂太后、文帝と武帝の初期(前130年頃)まで漢の対匈奴条約は約70年間継続された。

その後、匈奴は東西が分裂した後、紀元後1世紀の中頃、北匈奴と南匈奴に再分裂した。しかし、北匈奴の一部はモンゴル高原から草原の道を通して西へ移動した。そしてこの匈奴の西遷が、結果として、ユーラシア西部のゲルマン諸族の大移動を引き起こしたと言われている。

参考：(司馬遷史記、匈奴列伝、徳間書店)、(草原の道 文明交流圏 小林道憲著)、(草原帝国、重慶出版社)